

まちで活動して気がついた



まちで活動し続けるために必要な
地盤づくりの大切さについて

一戸町地域おこし協力隊 渡辺 達也

——自己紹介——

- 氏名:渡辺 達也 (27)
- 着任:2020年7月 さいたま市から一戸町に移住
- 現在:一戸町 地域おこし協力隊 【広報支援担当】
- 趣味:ものづくり(料理、プラモデル、コーヒー
レザークラフトなど)ツーリング、キャンプ
～アウトドア



さらっと、一戸町のご紹介



基本情報

- 岩手県北部に位置する人口約12,000人の自然と歴史が豊かな町。
- 森林、河川、風力などを活用した再エネ100宣言にも参加し、町内で作った電気を横浜市へ供給もしている。

交通・観光について

- 交通インフラ面では「IGR岩手銀河鉄道」の駅が4つ、町内を縦にまっすぐ走る「国道4号」、八戸自動車道「一戸IC」など、隣の二戸市、岩手町は新幹線の停車駅にもなっている。
- **御所野遺跡**が2021年7月27日「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産へ登録されました。
- 御所野遺跡、県立児童館いわて子どもの森、奥中山スキー場、大志田ダムの菜魚湖の氷上ワカサギ釣り、観光天文台、などなど。



活動

- ・ 広報(取材)のお手伝い
- ・ ふるさとCM大賞
- ・ 地域おこし協力隊「瓦版」の作成
- ・ 町内外でイベントチラシ等の作成
- ・ SNS・YouTubeなどによる発信

—番外編—

- ・ 高森高原キャンプ場の整備
- ・ いちドキ広場管理(一戸駅交流スペース)

など



——移住のキッカケ——

JOINの移住定住フェア2020に参加。

一戸町を知り、3月に移住体験。

関わった地域—SMOUT会話履歴から—

北海道、岩手県(洋野町、釜石市、陸前高田市)、宮城県、福島県、山形県、新潟県、長野県、茨城県、群馬県、神奈川県、山梨県、石川県、和歌山県、岡山県、鳥取県

移住体験 2020/3/11~3/13

一戸町へ移住体験し、寒く厳しい環境と感じたが、忙しいながらも付きっきりで案内してもらった、役場担当者、公営塾がある日だったにもかかわらず、奥中山の移住体験住宅まで来てくれ、料理を振舞ってくれた荒内さん、菊地さん。寒く厳しい季節だったので、地域は要所要所だったが、今考えると、**暖かい人たちに惹かれ、移住を決断**した。この人たちになら頼っても良いのかもしれないとも感じた。



——2020年の活動——

7月

広報いちのへ



Ichinohe

- ・取材、記事作成のお手伝い
 - ↳記事作成のノウハウ
- ・町民の方々と接点が激増
- ・岩手県内広報賞「組み写真部」で大賞

9月

一戸町地域おこし協力隊チャンネル



YouTube

- ・動画編集、動画撮影スキルGET
- ・町で取材した動画を記録、発信
- ・町外の人に町のことを知ってもらい、動画として紹介もできる。
 - ↳バイク動画を見て来町も！

10月

一戸町作品

※岩手朝日テレビ



ふるさとCM大賞

- ・総合監督として参加
- ・役場、町民の方と協力して作成

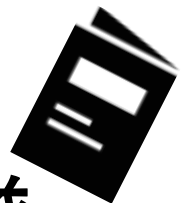
その他の活動

- ・協力隊の週ミーティングを提案
- ・一戸高校で講師として授業に参加
- ・セミナーなどに積極的に参加
- ・イベントチラシ等の作成依頼に対応 等々。

12月

一戸町地域おこし協力隊

瓦版



一戸町地域おこし協力隊【瓦版】創刊

※2020年12月創刊 町内全戸配布で発行

・発行目的

- 1.自分たち「地域おこし協力隊」のことを知ってもらうため
↳協力隊とは？、外からきた自分たちが町で活動をするため
知らないやつが勝手に何かしている、という状況を避ける



- 2.一戸町ではアナログな情報発信のほうがまだまだ強いと思った。
↳広報に携わったこと、回覧板、町の掲示板を見ている人の多さ

- ・広報いちのへで身に着けたノウハウを活用
- ・広報では載せられない取り上げられないことも【瓦版】ではできる

瓦版 ICHINOHE 地域おこし協力隊 Vol.01

両面1枚刷り



皆さん、初めまして。一戸町地域おこし協力隊です！
11月末現在、一戸町では5人の隊員が活動しています。
隊員たちがどんな人間か、どんな活動をしているのか知ってもらいたい
と思い、本紙を創刊しました。
広報の裏表紙で「協力隊通信」を掲載していましたが、今後は瓦版にて
協力隊の情報を発信していきます。
発行日は不定期となりますが、どうぞご覧ください！

そもそも、「地域おこし協力隊」ってなに??



地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進んでいる地方で、「地域社会に貢献したい」、「都会を離れて地方で生活したい」、「人とのつながりを大切にして生きていきたい」など都市に住む人たちが様々な理由で豊かな自然環境や歴史、文化など恵まれた地方へ移住し、地域の皆さんと地域活性化に取り組む制度です。



2020年の活動 まとめ

- 7月 移住
- 7月～ 広報活動の支援として取材同行/単独も
- 8月～ 週2回の協力隊ミーティングを提案実施
- 9月～ YouTubeチャンネル開設 動画編集スキルGET
- 8月～11月 ふるさとCM大賞の制作 なんか上手くいかず
- 12月～ 瓦版創刊 広報支援でのスキル活用
- 12月 岩手県内広報賞受賞「組み写真の部」
- 1月～ セミナーに積極的に参加 交流・情報収集を始める
- 2月 初イベントチラシ作成 一戸町×葛巻町合同募集説明会



割りと、一年目は上等かな？



一戸町地域おこし協力隊【瓦版vol.05】

新たなステップへ

町民の方と
表紙を！



一戸町公営塾から 夏季講習のお知らせ



一戸町公営塾では今年も『夏期講習』を開催します。夏休みには、たくさんの楽しいイベントが各地で開催されます。たくさん参加して素敵な思い出を作っていたきたいと思います。

しかし、忘れてはいけないのが夏休みの宿題ですよね。ついつい遊びすぎて後回しになりがちな夏休みの宿題。そんな皆さんの為に公営塾では苦手な生徒の多い算数と夏休みの宿題に焦点を当てたプログラムを作成して参加をお待ちしています！

申し込み方法は学校を通じて配布した資料をご確認ください。大変な宿題も公営塾で楽しく学習しましょう！！

地域おこし協力隊 一戸町公営塾 ☎090-9617-6714

輝くいちのへびと

いちびと!

今回、協力隊でお邪魔させていただいたのは、奥中山で農家を営んでいる、山下達也さん。

その驚くところは200項目以上の課題をクリアして、世界標準の農業認証である、「グローバルGAP」を取得されている農家さんであり、国内の大型デパートや大型ハンバーガーチェーン店などにも出荷して、活躍されています。

町で活動していると様々な分野で一戸町で輝く人と関わることがあります。今後も町で輝く人を探して紹介していきたいと思います！



いちびとの ステータス

山下達也さん
職業 農家
出身 奥中山



▲早朝4時ごろからレタスを収穫している山下さんのご家族



一戸駅中交流スペース【いちドキ広場】オープン！

2021年7月からオープンした【いちドキ広場】にある窓口に移住定住担当の高橋隊員と交代で常駐することとなった。金・土・日は元協力隊の方がカフェを開いている。

主な利用者

観光者、通院している方、駅を利用の方、町民、学生など

駅にすることで…

一戸町には「道の駅」がなく、観光者が訪れることも多い。更に協力隊の私たちがいることで管理はもちろん、コロナ禍で難しくなっていた町民の方たちと交流、情報交換ができるようになった。



あなた、もっと前に出なさい！

まちのお母さんたち



意識した結果？任せていただいた仕事など

イベントチラシ作成

なぎなたフェス、聖火リレー、音楽イベント、本イベントなど

町内の小中学校、教育委員会から動画作成依頼

ふるさとCM大賞やYouTubeで動画投稿をしていることから

町内のキャンプ場管理運営

町内で半遊休施設となっていたキャンプ場の活用について企画書を作成し、役場の方と交渉のうえOKをもらうことができた。

瓦版でも進捗をお知らせし、キャンプが好きな町民のファンもできた

テレビ、ラジオ、新聞などメディアへの出演

など



今までより町内外で積極的にいろいろなことに関わり続けて、自分の実績としてもアピールしていたこと、関わり続けて多くの人と、つながりをつくることができた結果、仕事にも繋がった。



2022年

1月24日(月)10:30-16:10

会場 いわて県民情報交流センター
アイーナ 会議室 804 他

募集人数 100名 オンライン可
対象「地域おこし協力隊・復興支援員等(OBOG含む) 地域づくりを行っている個人・団体」
※申込は2022年1月14日(金)まで、申込フォームは募集要項を参照してください。
※申込受付は、申込要項の上記期間内(申込受付期間)に限り受け付けます。

お問い合わせ 株式会社サンサンスターラボ(担当:高野)
TEL:090-1127-1252 mail:info@33starlab.com

主 催:お手紙ふるさと振興部 地域振興室
協 賛:株式会社サンサンスターラボ・盛衰会グループ株式会社・一般社団法人 Tensto



一般社団法人
岡山県地域おこし協力隊ネットワーク
代表理事 藤井 裕也さん

募集中!!

下記テーマのプレゼンターを募集します!

- I. 観光・交流人口の増加
- II. 地域資源を活用した地域産業の活性化
- III. 地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進



2021年の活動

- 昨年～ 瓦版継続（現在vol.7まで発行）
- 4月 食品衛生責任者養成講習 受講
- 4月 イベントチラシ作成 なぎなたフェス/6月 聖火リレー
- 6～7月 遠野市【(株)富川屋】考えて動かす学校 参加
- 7月～ 高森高原キャンプ場 整備開始
- 7月～ 一戸駅中交流スペース「いちドキ広場」管理
- 10月～ 高森高原キャンプ場 宿泊体験
- 10月～ ふるさとCM大賞作品作成～入稿
- 11月 県開催のイベントチラシの作成
- 12月 小中学校、学校教育課との撮影・動画制作依頼があり参加



まとめ



【瓦版】を継続して発行している効果

自分たちが何者なのか、普段の活動、目的などを示すことで、町の外から来たヤツではなく、地域おこし協力隊という肩書が自己紹介で通じる町で、いち町民として活動ができるようになった。



瓦版 ICHINOHE 地域おこし協力隊 Vol.06

一戸町公営塾 親子料理教室

一戸町公営塾では定休日に「親子料理教室」を開催しました。先日は保護者や講師とくさのコミュニティセンターをとり、料理教室で学ぶたこととを楽しく解ってお楽しみで楽しんでいただけたと思います。

地域おこし協力隊の小中シェフを講師に迎え本格的なボリタースパゲティとドリンクを作りました。小中シェフがアドバイスのもと生徒たちが、お父さんやお母さんの力を借りながら一生懸命に調理に取り組む姿が印象的でした。



今回の活動では見られないような、講師や参加者も講師に変わって調理一回、体験式しく行っていました。フコクワイルズの影響もあり、思うように行動出来ない場面もありましたが、このようにイベントを通して生徒の定休日も少しも変化しないようになっていっていただけても幸いです。今後参加できなかつた皆さんも、次の開催も楽しみにしてください！

地域おこし協力隊 一戸町公営塾 ☎050-9617-6714

フランス料理へ パーコンとトウモロコシの「ケーキサレ」

4. 卵黄と卵白を別々に泡立て、パウンド型に流し、流し込み、270度のオーブンで40分ほど焼き、冷蔵庫で一晩冷やせば完成。

キッシュのようにそのほかを混ぜてもよし、キッシュを焼いた後に入れても美味しいです。

材料 (5人前)	分量	備考
薄力粉	120g	100%
砂糖	50g	50%
パルメザンチーズ	70g	パルメザンチーズ
オーブオイル	70g	無塩バター
●卵類		
全蛋卵	1個	卵黄のみ
卵白	1個	卵白のみ

～作り方～
1. パウンド型にバターを塗りクッキングシートを敷きつけておく。
2. ●材料を1cm角にカットし、オリーブオイルをしいたフライパンでじっくり炒めながら乾燥させる。
3. 卵黄に砂糖、パルメザンチーズ、薄力粉を混ぜ合わせ卵白をホイップする。卵黄と卵白を混ぜ合わせる。パウンド型に流し込み、270度のオーブンで40分ほど焼き、冷蔵庫で一晩冷やせば完成。

小中シェフの「家庭で作る本格レシピ」

もっと詳しく！地域おこし協力隊！

高野町は、1、2では地域おこし協力隊に力を入れて活動してきましたが、今年はいよいよ活動をしてみたいと思います。地域おこし協力隊は平成21年3月13日に「地域おこし協力隊推進条例」により創設されました。平成21年度は40人だった隊員数は、令和2年度には550人と11年間で約13倍に増えています。定員自治体数は1,000自治体を超えており、一戸町でも平成29年8月10日に「一戸町地域おこし協力隊推進条例」を定め、今までに23人の隊員を受け入れています。

年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
隊員数(人)	40	257	413	617	876	1,620
一戸町隊員数(人)	0	0	0	0	0	0
定員自治体数(自治体)	31	90	147	207	310	444
隊員数(人)	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
一戸町隊員数(人)	0	0	0	0	0	0
定員自治体数(自治体)	673	746	867	1,082	1,472	1,965

▲高野町「地域おこし協力隊推進条例」による1名定員

なぜ地域おこし協力隊はこんなにも増えたのでしょうか？
理由のひとつは、手取り1倍の支援があることです。一戸町で活動している地域おこし協力隊にかかる費用は、入居費のほか各種経費についても、全額補助的支援を受けています。（隊員1人あたり470万円上限）

地域おこし協力隊制度は、国は都市圏から過疎地域等へ人口を移すため、行政は自らの財政や地域活性化を図るため、隊員は理想の暮らしや労働能力を活かすため、と、それぞれの目的を達成することができれば、互いに利益となり得ます。

編集後記 「いちどき広場」オープン！

「いちどき広場」は、高野町に18年続いている「いちどき」の集まりです。今年も18年続いた「いちどき」の集まりが、今年も開催されました。今年も18年続いた「いちどき」の集まりが、今年も開催されました。今年も18年続いた「いちどき」の集まりが、今年も開催されました。

高野町は、今年も18年続いた「いちどき」の集まりが、今年も開催されました。今年も18年続いた「いちどき」の集まりが、今年も開催されました。今年も18年続いた「いちどき」の集まりが、今年も開催されました。



積極的に講習・セミナーに参加するメリット

正直、似たり寄ったりなセミナーは多い。ですが、講師はもちろん、セミナーの内容に沿った目的を持ったひとが必ず居ます。

町の外から来た協力隊としては強力な味方

内容が似ていたとしても、新たな繋がり。
新たなことが学べなさそうでも、再認識や気づき、につながれば、自信にも繋げることができる。

キッカケづくり



2022年
1月24日(月) 10:30-16:10

会場 アイーナ 会議室 804 他

募集人数 100名 オンライン可
対象 「地域おこし協力隊・復興支援員等(OBOG含む) 地域づくりを行っている個人・団体」

※新型コロナウイルス感染症の状況により、会場をオンラインに変更または開催中止となる場合があります。
※会場参加の方は、マスク着用の上ご参加ください。会場内や発表が終了する場合はご自身で換気をお願いします。

お問い合わせ先
株式会社サンサンスターラボ(担当:高野)
TEL:090-1127-1252 mail:info@33starlab.com

主催:岩手県ふるさと復興部 地域復興課
協賛:株式会社サンサンスターラボ・盛東会グループ株式会社・一般社団法人Tanoto



一般社団法人
岡山県地域おこし協力隊ネットワーク
代表理事 藤井 裕也 さん

募集中!!

下記テーマのプレゼンターを募集します!

- I. 観光・交流人口の増加
- II. 地域資源を活用した地域産業の活性化
- III. 地域コミュニティの活性化、移住・定住の促進



各方面との報・連・相(ミーティング)

同じ協力隊や仲間チームなど

任務が違う同じ町の協力隊員同士でも定期的に情報交換を絶やしてはいけない。活動内容、進捗、今後の動きなど。

一番身近に居る頼っていい人



町で活動するうえで忘れてはいけない人たち

地域おこし協力隊という色々ある立場で真っ先に関わってくれる人たちでもある「**役場の人たち**」です。役場の人たちとの信頼関係があるからこそ、活動できていることは多く、続けて町で活動していくうえで大切です。





ご清聴ありがとうございました 

